

《講演者プロフィール》

Ms. Laura Smillie

(ローラ・スマイリー氏)

欧州食品安全機関 (EFSA) コミュニケーション局
上席コミュニケーション・アドバイザー

英国生まれ。欧州コミュニケーション学の修士号を持つ。国際的なコミュニケーション関連企業で7年間勤務した後、2010年に上席コミュニケーションアドバイザーとしてEFSAに入る。EFSAの戦略的な優先度に基づく、コミュニケーションの進め方と実施について重要な役割を果たしている。リスクコミュニケーション、メディアや利害関係者への対応における経験に加え、科学的なリスクの不確実性に関する最適なコミュニケーションモデルを開発し、発表した。

Mr. Benoit Vergriette (ブノア・ヴェルグリエットウ氏)

フランス食品環境労働衛生安全庁 (ANSES)

リスクコミュニケーション及び社会に対する
コミュニケーション室 室長

農業開発経済学の修士号を持つ。農業・環境分野における協力・発展政策に18年間携わり、その後、環境と健康リスク問題に取り組むため、フランス環境省に入省。2004年にANSESに加わって以降、コミュニケーション、情報、社会との対話を担当する部署において「リスクと社会」ユニットのトップを務めている。このユニットは、ANSESの専門知識の社会への普及を担当している。

姫田 尚 (Mr. Takashi Himeda)
内閣府 食品安全委員会事務局 事務局長

京都大学卒業後、農林水産省へ入省。消費・安全局において消費者情報官、動物衛生課長、総務課長、審議官等を経て、2012年より現職。農林水産省時代は、BSE対策、高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫、福島原発事故に係る食品の放射線対策等に尽力した。また、消費・安全局の初代消費者情報官として、リスク管理機関におけるリスクコミュニケーションに取り組んできた。現在は内閣府食品安全委員会事務局長として食品に関するリスク評価やリスクコミュニケーション分野を統括している。